

## 仮称「お悔やみ窓口」の設置を

質問者 下野 義子

家族が亡くなった際、遺族は悲しむ間もなく葬儀や行政手続き、遺品整理、相続など様々な事をしなくてはならない。近年「終活」という言葉が聞かれるが、先々から備えることで遺族の不安や負担の軽減につなげることができる。そこで、以下の点について、所見を伺う。①一括で手続きできる窓口の設置。②手続きガイドブックの作成と手続きの簡素化。③終活ノートの活用と相談事業。④相続や成年後見制度などのハウツー講座の開催。